

12. アジア・アフリカ地域研究研究科

(分析項目Ⅰ 研究活動の状況 34)

(分析項目Ⅱ 研究成果の状況 34)

分析項目Ⅰ 研究活動の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

研究活動の基本的な質を実現している。

〔特色ある点〕

- いずれの研究センターも、第3期中期目標期間中も積極的に活動し、国内外の研究者を動員した研究会を開催（第3期中期目標期間4年次までにそれぞれ合計65件、88件、27件）し、書籍を出版（第3期中期目標期間4年次までにそれぞれ合計6点、14点、4点）している。

分析項目Ⅱ 研究成果の状況

〔判定〕 高い質にある

〔判断理由〕

学術的に卓越している研究業績、社会・経済・文化的に卓越している研究業績が、それぞれ、4件、1件との評価を受けており、現況分析単位の目的・規模等を勘案し、高い質にあると判断した。

特に、「熱帯アジア地域社会の中での生物多様性保全とその利活用に関する研究」及び「狩猟採集民・農牧民のコンタクトゾーンにおける景観形成の自然誌に関する研究」は、学術的に卓越している研究業績である。